

第32回 ボランティア研修交流会

素晴らしい自分に出会う日 ～障害者差別解消法とボランティアについて～

2月9日(土)伊万里市民図書館に於いてボランティア研修交流会が開催され、45名の方に参加いただきました。

講師に松尾真弓氏をお迎えし、「素晴らしい自分に出会う日」と題しての研修交流会でした。自分の良いところに改めて気づくことが出来た素敵な時間になりました。

当日、ご参加いただいた方に感想をいただきました。

副島 康平さん(22歳)

先日、伊万里市民図書館で行われたボランティア研修交流会に、初めて参加させていただきました。こういった会に参加したことはあまりなかったので緊張と不安がありましたが、いざ参加してみると、とても温かく受け入れてもらえました。

今回の交流会では、話し合いやグループごとの発表で、多くの方の話を聞くことができました。

自分の良いところを3つ発表する際には、発表者でない方から、特に講師の松尾真弓さんからもその人の良いところが数多くあげられていました。松尾さんは、自分の良いところも多く発表されて

おり、人の良いところを見つけ優しい人間になるには、自分の良いところを知ることが大事だと感じました。

なぜボランティアを続けてこられたのか、という議題では、皆さんのボランティアを通して得たもの、感じたものをたくさん聞かせていただきました。その中で多くあったのが、仲間が出来る、社会貢献できる、生きがいとなる、という意見でした。実際にボランティアを続けてこられた方々からそういった声を多く聞けて、ボランティアをする側も、与えるだけでなく多くの形にならない大事なものを得ることができると、知ることができました。

また、同年代の方がとても少なかったのが少し気になりました。これからの伊万里を支えていくには、若い人たちの力も重要になります。今、伊万里のボランティアを支えてくださっている方々はやさしく温かいばかりなので、若い方にもぜひボランティア講習会に参加してもらいたいと、今回の会に参加して感じました。経験豊富な先輩方には及びませんが、私もこれからボランティアに参加していきたいと考えています。



障害のある人もない人もみんなが暮らしやすいまちに!

ヘルプマークを知っていますか?

援助が必要な方のためのマークです。



外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。このマークを見かけたら電車・バス内で席をゆずる困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。

障害者差別解消法って?

障害のある人もない人も、お互いにその人らしさを認め合い、交流し、支え合いながら、ともに生きる社会、誰もが安心して、暮らせる社会を目指す法律です。

平成30年度 地域はつらつ！ ボランティアステップアップ研修会

米岡 初代さん

2月22日(金)小城健康福祉センター桜楽館において、佐賀県ボランティア連絡協議会主催の「ボランティアステップアップ研修会」が、開催されました。

私にとって、この小京都といわれる小城は、なつかしさといとおしさ、のような感情を常々持っている所でもあり参加させていただきました。

まず、NPO法人セルフ代表 安永康子氏の「障がいを持つ子どもに関わる際のボランティアの視点について」、自閉症スペクトラムを中心に講話されました。

安永氏は、自閉症理解の啓蒙啓発活動をなさっている方です。

セルフの活動内容として

1. 身だしなみ事業
2. 発達障害余暇支援事業をなさっておられます。

また、平成25年に、経営されている美容室が、佐賀県ユニバーサルデザイン賞優秀賞を受賞されています。

休憩の後、グループワークショップが行われました。発達障害を中心とした内容で、対応の仕方や地域での活動中、気になることなどについての話し合いでしたが、私たちが求めているボランティアの改善点や問題点などについての話し合いが出来ず残念でした。



学校紹介

黒川小学校

黒川小学校は、「返事・あいさつ・感謝の言葉 ～伊万里市一番をめざして～」を重点目標に掲げています。そして、福祉への理解と関心を深め、自主的・自発的な態度を身につけるために、全校でボランティア活動に取り組んでいます。

1. クリーンハート委員会は、
 - (1) 白い羽根募金、ユニセフ募金、赤い羽根共同募金、24時間テレビの募金活動に取り組み、全校児童がよく協力してくれました。
 - (2) ベルマークやペットボトルキャップ、プルタブ回収の呼びかけ・整理
家族の方のご協力で、たくさん集まっています。
 - (3) 花の水かけや学校下のバス停の清掃

2. 総合的な学習の時間での取り組み

- (1) 4年生は、自分たちがすべきことは何かについて考えました。

目が不自由な方のお話を聞いた後のアイマスク体験、車椅子体験、高齢者疑似体験
高齢者施設を訪ね、一緒に歌ったりゲームをしたり、手作りのプレゼントを贈りました。
一番喜ばれたのは、肩をもみながらのおしゃべりでした。

- (2) 5年生は、来年度入学してくる年長園児が小学校へ親しみをもつような交流会を計画し、園児にどのような声掛けをすればいいのか学びました。

3 その他の活動

- (1) 2～6年生は、干支の猪のイラストや文字を入れた年賀状を一人暮らしの高齢者の方に出しました。
- (2) パソコンクラブは、学校サポーター(様々な教育活動のお手伝いをして下さる地域の方)の方にパソコンで作った年賀状を出しました。どちらからもお返事を頂きました。



ボランティアをする。。。
 ボランティアを受ける。。。
 ボランティアを待つ。。。
 ボランティアを楽しむ。。。



(2018年10月調査)

ボランティアは、ニーズに合わせて行なうことで、成り立つものです。

さて、私たちの市では、どのようなボランティアが行われているのでしょうか。

伊万里市で、ボランティア団体として活動が始まったのは、昭和59年頃だそうです。

その当時、ボランティア連絡協議会に登録されていた団体は、〈7グループ・2施設・4福祉団体〉でした。

それから、30数年経った今、グループが108、個人が328人、学校（小中学校・高校・看護学校）が27校、事業所（福祉施設・一般企業）が53ヶ所、

と大幅に拡大しました。年齢層は、6歳～80歳代。

次に他市には見られないボランティアを紹介します。

お化粧ボランティア「スイトピー」、音訳ボランティア「こだま会」、点訳ボランティア「麦の会」、そして、このボランティア情報誌「やあ！お元気ですか」です。

ボランティアの活動先は、どういう所かというところ、福祉施設や、市民センター内、公民館、地域美化活動の場所（図書館、海岸など）となります。

最近、市内で、ニーズの特に多いボランティアは、福祉施設のイベント手伝いや、福祉施設を訪問し、舞踊・演奏・歌・唄など、また傾聴も求められています。

それに、託児ボランティアも必要とされる頻度が増えました。

伊万里市のボランティア活動は、佐賀県内でも進んでいる方で、多方面に活発に行われていると思います。

しかし、まだまだニーズに十分に答えきれずにいます。ボランティアさんを探しています！

趣味・特技・体力・気持ち・笑顔を活かして、共にボランティアの仲間になりましょう！！

v (^ー^) v

伊藤美代子(山代町)
 井上ミツ子(脇田町)
 岩橋あけみ(松浦町)
 浦川 正視(陣内)
 小川 祥子(松島町)
 加賀良和子

♥ありがとうございました♥

使用済・未使用切手、書き損じハガキ、ベルマーク、
 プルタブ、飲料水のボトルキャップ、古タオル、
 コーヒーのクーポン券など

(2月1日～末日 受付分)

加賀良真子
 川内キミエ(山代町)
 下川 副子(大川町)
 新庄百合子(立花町)
 杉原 栄子(松浦町)
 田中 里子(唐津市)
 長岡 好孝(立花町)
 永田喜代子(大川町)
 濱野日天子(新天町)
 林 弘亮(黒川町)
 樋口 国昭(山代町)
 弘川 俊子(立花町)
 福川 裕司(黒川町)
 牧瀬 敏(二里町)
 松尾鎖由吏(立花町)

大串 忠経(伊万里町)
 太田 明子(大川内町)
 須賀裕美子(東山代町)
 松尾 汎子(二里町)
 松尾 義治(松浦町)
 山内 純子(立花町)
 山口 成美(東山代町)
 二里公民館
 東山代公民館
 市税務課
 市男女協働まちづくり課
 市福祉課社会福祉係
 市福祉課総務係

アイ・セレモニー [株] (松島町)
 伊万里カトリック幼稚園(二里町)
 伊万里市母子寡婦福祉連合会
 伊万里商工会議所女性会(新天町)
 大川内 はたち会(大川内町)
 大川内町老人クラブ(大川内町)
 九州マリンレジャー(黒川町)
 里5区有志(東山代町)
 スズキ佐賀中央自動車[株]伊万里店
 (大坪町)
 全労済在宅介護サービスセンター
 いまり(立花町)
 立花小学校(立花町)
 立花保育園(立花町)
 ユウシード東洋[株](新天町)



いまりの里(大坪町)
 川原商店(東山代町)
 口石病院
 国松(脇田町)
 グランパランいまり
 [有]三栄商事(大坪町)
 塩屋の藤(黒川町)
 鳴石婦人部(山代町)
 野口商事(山代町)
 肥前観光(東山代町)
 船屋老人会
 堀田病院(立花町)
 吉永建設[株](二里町)
 瑠璃光苑(二里町)

【敬称略・順不同】